

認知症マフ ワークショップ in 浜松



muff

認知症の人に使ってもらふマフ(円筒型のニット小物)の製作、普及を紹介するワークショップを開催します。イギリスの病院や高齢者施設で使われているtwiddlemuff(トゥイドルマフ)は、認知症の人が手を通すと安らいだ気分になるといわれています。ワークショップでは、NHK教育テレビ(Eテレ)出演などで活躍中のニット作家・能勢マユミさんと一緒に認知症マフを編んでいただきます。また、実際に手作りの認知症マフを使い始めている病院や高齢者施設のご担当者から活動を報告していただきます。新型コロナウイルスの感染拡大によって自宅で過ごす時間が増えています。マフ作りを通じて認知症のことや当事者のこと、地域づくりについて考えていただけることを願っています。

Workshop

プログラム

13:30~13:45 認知症マフの基礎知識

朝日新聞厚生文化事業団 大阪事務所・森田英枝

13:45~14:15 活動報告① 浜松医科大学 臨床看護学講座教授・鈴木みずえ先生

「認知症マフの活用方法と浜松での取り組み」

活動報告② 鶴岡市立荘内病院 認知症看護認定看護師・富樫千代美さん

「鶴岡市立荘内病院での取り組み」

活動報告③ 磐田市立総合病院 認知症看護認定看護師・田森智美さん

「磐田市立総合病院での取り組み」

14:15~14:25 休憩 (聴講のみの方はここで退出していただきます)

14:25~15:50 マフ作り体験 ニット作家・能勢 マユミさん

15:50~16:00 質疑応答、アンケート記入

2022年
11/6(日)

13:30~16:00

(開場 13:00)



会場 浜松医科大学医工連携拠点棟 3階大会議室

静岡県浜松市東区半田山1丁目20番1号

定員 30名

聴講のみのご参加も先着30名受け付けます。

(参加費は 1,000 円。資料配布、認知症マフの製作キットは付きません。)

共催 朝日新聞厚生文化事業団・浜松医科大学 臨床看護学講座老年看護学

参加費
2,000円

(材料代、資料代込)

当日会場でお支払いください

申し込み

2022年10月31日(月)18時までの間にお申し込みください。

※定員になり次第受け付け終了

※右のQRコードから申し込みます。

問い合わせ

朝日新聞厚生文化事業団 担当:森田

電話 070-3349-4847 Eメール aswo-osaka@asahi.com

朝日新聞厚生文化事業団

検索



※ 新型コロナウイルスの感染状況によって開催延期やプログラムに変更が生じる場合がありますのでご了承ください。当日は37.5度以上の発熱、咳、喉の痛みがある方のご参加はご遠慮くださいますようお願い致します。また、会場では検温、手指消毒、マスク着用、換気にご協力をお願い致します。



朝日新聞厚生文化事業団